

「乱流とCG」

Turbulence and Computer Graphics



謝 浩然

先端科学技術研究科 知識科学系

2019 **2/21(木)** 12:40 - 13:20

会場:ラーニング・コモンズ「J-BEANS」

乱流とは、我々は身の回りの日常的な自然現象である。科学の黎明期である300年前から、アイザック・ニュートンはこれらの現象に気付いており、今でも古典物理学に残された最後の難問と言われている。本講演では、コンピュータグラフィックスCG分野において、スーパーコンピュータすら何日間もかかる乱流解析を、一般PCでも実時間のシミュレーション及びデザインが可能となるデータ駆動型手法を紹介する。並びに、飛行機やロボットの設計支援へ応用する可能性を検討する。

This talk gives a brief discussion about the interactive simulation and design solutions of turbulence in Computer Graphics, and their potential applications in aircraft and robot designs.

"When I meet God, I am going to ask him two questions: Why relativity? And why turbulence? I really believe he will have an answer for the first."

量子力学の創始者
ヴェルナー・ハイゼンベルク
(1901-1976)



image@wikipedia

The slides are written in English. Foreign audience is welcome!

ラーニング・コモンズJ-BEANSは、大学会館1階です。
J-BEANS is located on the 1F, Institute Hall.

J-BEANSセミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の学系の方もご来聴下さい。

担当教員: 先端科学技術研究科知識科学系
准教授 金井秀明

